

地縁組織の連携・協働を 目指して②



今回は旭星地区社会福祉協議会の取組みを紹介します

旭星地区では、地域福祉の活動をより良くするため、地区市民委員会、民生委員児童委員、町内会などの身近な地縁組織と協力し、情報交換や研修会を定期的に行っています。研修会には、旭川大学の学生や近隣の福祉事業所の方も参加し、地域の課題抽出に努めています。



旭星地区社会福祉協議会 会見会長からのメッセージ

近年は、家族形態の変化、家族や地域社会における“つながり”の希薄化などから、さまざまな生活課題を抱える人が増加している傾向にあります。旭星地区では、「地域共生社会」を形成し、地域で暮らす住民同士が互いに声をかけ合い、変化に気付く目を持ち、安心して住み慣れた場所で暮らし続けられることを目指しています。人と人とのつながりに重点を置き「隣近所の協力による福祉」の充実のため、地区市民委員会、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会の三者が情報を共有し、協働で取り組んでいます。問題解決に向けて、地域包括支援センターなど関係機関とも連携しています。



研修会の様子(令和元年度)

令和2年度

旭川市社会福祉協議会に
ご寄附をいただき、誠に
ありがとうございました。

【事業振興基金】

● 宗教法人 真如苑 様

【一般寄附】

● 尾山孝子 様 ● ㈱夢グループ 様



「各地区地縁組織の連携・協働による 地域福祉活動」パネル展を開催します!

11月30日(火)から12月5日(日)までの6日間、イオンモール旭川西3階ムラサキスポーツ前スペースにおいて、「各地区地縁組織の連携・協働による地域福祉活動」パネル展を開催します。地区市民委員会・地区民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会が連携して実施している地域福祉活動の写真を、パネルで展示します。皆さまに地域福祉活動を知っていただく機会となるよう企画しましたので、ぜひご覧ください。

図書カードをプレゼント!!

「社協あさひかわ」に関するご意見やご感想をお待ちしています。ご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から抽選で、3人の方に1,000円分の図書カードをプレゼントします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

【応募方法】はがき・FAX・メールにて

【必要事項】①ご意見・ご感想 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号

【応募締切】令和3年11月30日(火)まで(当日消印有効)

【応募先】旭川市社会福祉協議会の5条事務所(右ページ参照)まで

※ご意見・ご感想で得た個人情報、プレゼントの抽選及び発送以外に使用しません。

70周年
Anniversary



令和3年11月
(No.200)

社協 はじまりは あなたの笑顔から あさひかわ

このページは、
赤い羽根共同募金の
助成を受けています

共同募金運動期間
10月1日～12月31日



ご意見・ご質問を募集
しています! 「旭川市
社会福祉協議会」まで

社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会
http://www.asahikawa-shakyo.or.jp

【5条事務所】〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階
TEL 23-0742 / FAX 23-0746 Eメール chiiikkyosei@asahikawa-shakyo.or.jp

【神楽事務所】〒070-8003 旭川市神楽3条4丁目1-18 TEL 60-1755 / FAX 60-1790



「社協あさひかわ」が200号を迎えました

「社協あさひかわ」は、昭和27年に「旭川の福祉」として第1号を発行後、昭和45年に現在の名称に変更し、今号で200号を迎えることができました。これからも、わかりやすい情報発信に努めて参りますので、よろしくお願いたします。



市内にある53の地区社協の中から 新旭川地区社会福祉協議会を紹介します

新旭川地区では、地域の身近な地縁組織や各団体が連携し、子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすい地域づくりを目指し、活動しています。

また、高齢者にとって居心地のよい場とはどのような場なのかを話し合い、高齢者が豊かな気持ちで過ごすことができる地域の居場所づくりに取り組んでいます。



クリスマスの集い(令和元年度)



コロナ禍でのつながりづくり

新旭川地区社協では、地域住民のふれあいや交流を目的として、毎月1回ふれあいサロンを開催しています。ふれあいサロンには看護師として働いていた方にも参加してもらい、血圧測定や健康相談などを取り入れ、サロンの参加者同士で協力しながら実施しています。

コロナ禍で活動が大きく制限を受ける中でも、これまで集いの場に参加していた方とのつながりを絶やさないよう、新旭川・永山南地域包括支援センターの協力を得ながら、ボランティアが作成したお手紙や体操のパンフレットなどをお届けしています。活動を通して、これまで作り上げてきたつながりを深めていきたいと考えています。

新旭川地区社協 大島会長からのメッセージ

安心見守り活動やふれあいサロンを進める上で、最も大切なことは、多くの高齢者と触れ合い、つながりを強めることです。現在、コロナ禍で人と接する機会が減り、高齢者の抱える悩みや生活の課題を把握することが難しくなっています。そのため、地域住民の協力を得ながら、地区市民委員会、民生委員児童委員との連携を密にして、安心・安全な住みやすい地域を目指していきたいと思っております。

地区社協の活動に興味がある方、一緒につながりづくりの活動をしてみませんか?

